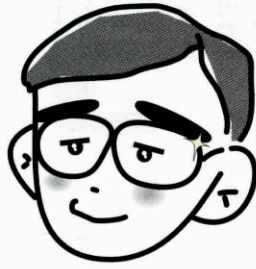


ながと日記 ばーと30

長門市長 松林正俊

見えぬものでも
あるんだよ



「科学の進歩とモノの豊かさが求められた」20世紀から、「心の豊かさ」と環境の時代」21世紀と時代は移りました。そんな中で、自然と生命に素直に目を向けたやさしさ溢れるみずゞさんの詩は、21世紀を築いていくうえでキーワードをたくさん含んで

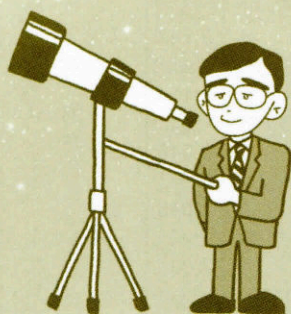
皆さん、新年明けましておめでとうございませう。今世紀に入ってから3回目のお正月ですが、いかがお迎えですか。21世紀最初の1昨年、私は「21世紀はみずゞさんの時代です」と申しました。

ここ数年、みずゞさんの注目度は全国的に高まっています。みずゞさんのふるさと仙崎を訪れ、「みずゞ通り」の散策をたのしむ観光客は年々増えています。軒先に掛けられた木札のみずゞさんの詩を読みながら街を歩き、記念館でみずゞの世界にふれる、

いる、そんな気がすると言いました。今年のみずゞさんの生誕100年にあたり、「生誕100年祭の行事」や「金子みずゞ記念館」のオープンなどが予定されています。まさに今年のみずゞさんの年となります。

「見えぬものでもあるんだよ」
「星とたんぼ」の一節ですが、私たちに見えないものも他所の人や都会の人には見えることもあります。懐かしさや人情や・・・
「見えないけれどもあるもの」をしつかり捉える」私は今年、まちづくりのキーワードにした

そしてまた再び仙崎を訪れたい、そんな充実感を味わえるまちづくりが今仙崎で出来そうな気がします。
昼の星は眼にみえぬ
見えぬけれどもあるんだよ。
見えぬものでもあるんだよ。
「星とたんぼ」の一節です



俵山中農園で自然薯を収穫

11月26日、俵山中学校の生徒全員が学校農園に栽培した自然薯を収穫しました。

同校では地域の特産品の良さを理解するため、昨年度から自然薯の栽培に取り組んでおり、作業は全校生徒48人を学年、男女に関係なく編成した7つの縦割り班で行いました。

自然薯は4月に地元の生産者から指導を受け、一人が2本ずつ植えたもので、生徒たちは、地中に埋めた長さ120cmの塩化ビ



ニールパイプをくわで掘り起こし、自分のパイプを開いては、自然薯の大きさに歓声を上げていました。

「長門地どり」ゆうパック出発

12月2日、クリスマスやお歳暮用として出荷される「長門地どりゆうパック」の今シーズン第1便の出発式が、深川養鶏農業協同組合で行われました。

式には同農協や郵便局関係者など約40人が出席。富田明長門郵便局長と末永秀昭組合長のあいさつのあと、テープカットが行われ、366ケースを積んだトラックを送り出しました。

「長門地どり」のゆうパック商品は、地場産業発展の一翼を



担おうと、平成元年から長門地域1市3町の各郵便局で取扱いを開始したもので、全国各地に発送されています。